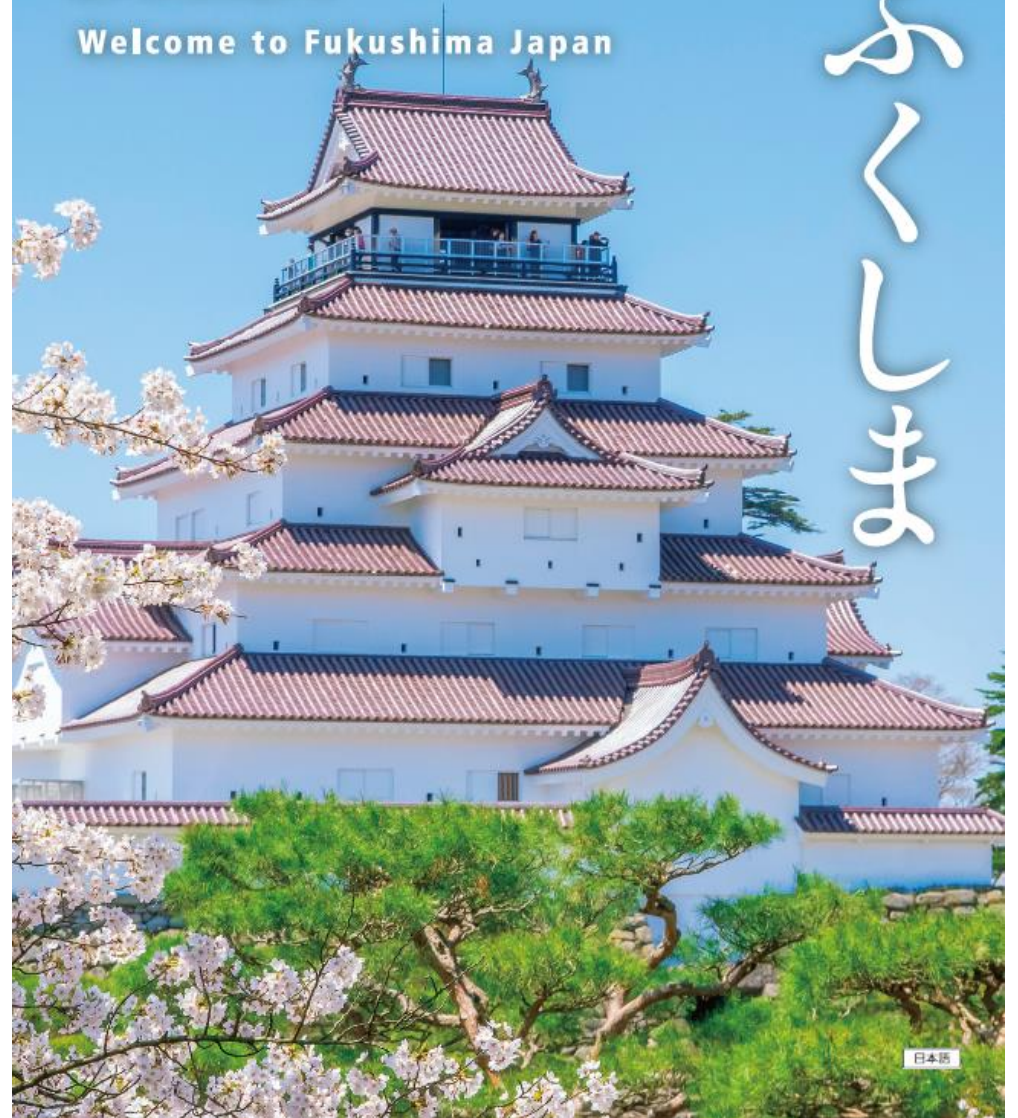


Fukushima

Brochure

Welcome to Fukushima Japan

ふくしま



Welcome to Fukushima!

福島県は東北の最も南に位置し、東北の玄関口として首都圏からも近距離です。また、全国で3番目の広大な県土を有しており、それぞれが特色のある気候風土を有する「会津」「中通り」「浜通り」の三地域に分けられます。2011年の東日本大震災と原発事故によって被害を受けましたが、復興に向けて着実に歩みを進めています。現在までの復興活動と未来に向けたチャレンジを知り、また、福島県の美味しい食べ物、温泉、自然、伝統文化を感じてください。

東京から **80分**



- 自動車** 東京:首都高速都心環状線/C1 ▶▶▶ 福島:郡山IC 約3時間
- 飛行機** 札幌:新千歳空港 ▶▶▶ 福島:福島空港 約1時間35分
大阪:伊丹空港 ▶▶▶ 福島:福島空港 約1時間
- 鉄道** JR東北新幹線 東京:東京駅 ▶▶▶ 福島:郡山駅 約80分
JR特急ひたち 東京:東京駅 ▶▶▶ 福島:いわき駅 約2時間15分
東武特急リバイ会津 東京:浅草駅 ▶▶▶ 福島:会津田島駅 約3時間10分

その他・詳しくはこちら
「ふくしまの旅」
アクセス



会津

豊かな自然と歴史

中通り

四季折々の花々と果物および
便利な交通アクセス

浜通り

温暖な気候と
歩み続ける復興の地





1 JR只見線【三島町】

2011年7月の豪雨の被害から2022年に全線運転再開した只見線は、季節ごとの絶景が楽しめる秘境路線です。

2 花見山【福島市】 梅や桜などが咲き競う、花の名所。著名な写真家に「桃源郷」と称えられた美しさです。

3 塔のへつり【下郷町】 100万年にわたる浸食と風化が生み出した「へつり（断崖や急斜面）」が塔に見える景勝地です。

4 五色沼湖沼群【北塩原村】 大小30個ほどの様々な色彩をもつ湖沼で、天候や季節などによって彩り豊かな姿を見せます。

5 あぶくま洞【田村市】 全長4,218.3m、公開部600mの洞内に、多種多様な鍾乳石が数多くある、日本有数の鍾乳洞です。

6 相馬野馬追【相馬市、南相馬市】

1000年以上の歴史を持つ祭典で、約400騎の甲冑競馬や神旗争奪戦は壮観で5月の3日間に開催です。

7 会津ざざえ堂【会津若松市】 国指定重要文化財で、螺旋構造により上りと下りがすれ違うことなく参拜出来る不思議な造りです。

8 白水阿弥陀堂【いわき市】 1160年に建てられた国宝建築物。周囲の木々とつくる四季折々の風景が見事です。

9 檜枝岐歌舞伎【檜枝岐村】 檜枝岐村民によって江戸時代から280年以上に受け継がれている歌舞伎です。年3回の興行です。

10 大内宿【下郷町】 茅葺屋根の街並みが残る街道沿いの宿場町。国重要伝統的建造物保存区域になっています。



11 会津芦ノ牧温泉【会津若松市】

千年以上の歴史を持つ温泉で、神経痛や眼病に効く四季折々の溪谷美が堪能できる温泉です。

12 磐梯熱海温泉【郡山市】 福島中央部の郡山市にある温泉郷です。肌をツルツルにする「美人湯」として知られています。

13 いわき湯本温泉【いわき市】 美肌作用・高血圧に効くなど数々の効能がある日本の三古泉のひとつです。



14 もも 7月から9月頃まで、収穫時期によって豊富な品種を味わえます。「あかつき」が有名です。

15 ゆうやけベリー 収穫の時期が早くクリスマスや年末年始を彩る県オリジナルいちごです。甘味が特徴です。

16 ふくしまの野菜と果物 全国有数の生産量を誇るきゅうりやトマトなどのほか、様々な野菜と果物が生産されています。

17 ねぎそば 大内宿名物で、ねぎを善代わりして食べます。ねぎをかじれば、薬味にもなります。

18 喜多方ラーメン【喜多方市】 日本三大ラーメンの1つ。平打ち熟成多加水麺で、太めの縮れ麺が特徴です。

19 円盤餃子【福島市】 丸い円盤型に焼き上げる円盤餃子は、野菜たっぷりりでボリューム満点です。

20 常磐もの 黒潮と親潮が出会う潮目の海で水揚げされた多種多様で品質が良くおいしいと評判の魚介類は「常磐もの」と呼ばれます。

21 クリームボックス【郡山市】 パンに、白いミルク風味のクリームをたっぷり塗った郡山市発祥のご当地グルメです。

22 いかにんじん するめいかと人参の千切りを酒・醤油・みりん等で味付けしたシンプルな郷土料理です。

23 ふくしまの米 米の生産量全国第6位。その中でも県オリジナル品種「福、笑い」は最上級のお米です。



日本酒
福島県は日本酒も美味です。2024年全国新酒鑑評会では、県内18銘柄が金賞を受賞しました。



米がいい、水がいい、人がいい。



ふくしまの酒

酒蔵見学

福島県での酒づくりの歴史は古く創業300年を超える酒蔵も活躍しています。県内には60を超える酒蔵があり、見学できる酒造も沢山あります。
(※見学は各酒蔵に事前予約が必要な場合もあります。英語対応の酒蔵もあります。)

酒蔵見学の可否、電話番号等ははこちら
【出典】仙台国税局HP



24 白河だるま【白河市】
白河市の民芸品で、鶴亀や松竹梅をあしらった縁起物です。

25 大堀相馬焼【浪江町等】
浪江町大堀地区の国伝統的工芸品の焼物で、震災により避難を強いられました。浪江町を中心に再建しています。

26 赤べこ【柳津町、会津若松市】
会津の伝統工芸品で、福満虚空蔵堂の赤牛伝説をもとに福を呼ぶ牛として親しまれています。



27 もも狩り
ぜひ、果樹園で、新鮮な甘い桃を味わってください。中通り地方を中心に、夏に体験できます。

28 赤べこ絵付け
会津地方で、世界にひとつだけの赤べこを旅の思い出に描いてください。



提供:福島民報社

震災直後と現在の様子

東日本大震災による揺れや津波は、福島県内各地に大きな被害をもたらしました。ライフラインや交通網が寸断されたほか、建造物などもダメージを受けましたが、現在では各所で復旧工事も進み、ほぼ全てが完了しています。



避難者および避難エリアの推移

原子力災害により福島第一原発周辺は、避難指示区域に指定され、居住していた方は県内外への避難を余儀なくされました。また当時、放射線量の問題など様々な事情で自主避難された方もいますが、避難指示区域は帰還困難区域以外は解除され、避難地域の復興・再生が着実に進んでいます。

2012年5月 **164,865人** ▶ 2024年8月 **25,798人**

【出典】福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況(即報)各月報」

震源地と県内各地の震度



人的被害 2024年8月1日現在

死者 4,177人
うち、震災関連死 **2,346人** ※1

※1 震災関連死とは、地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

住家被害棟数合計 2024年8月1日現在

全壊	15,483棟
半壊	83,640棟



2011年4月より2024年7月まで
福島県全体の約**12%**から約**2.2%**に減少



▲住宅の除染(堆積物除去)

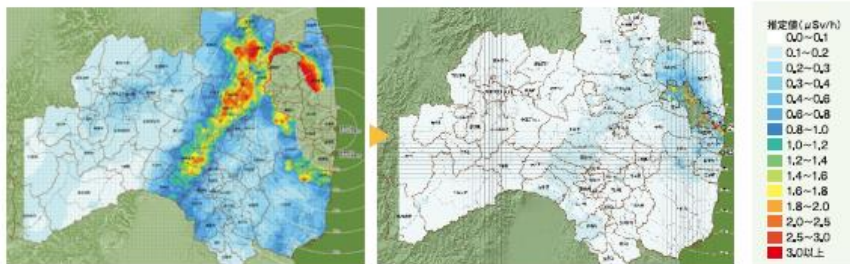


▲農地の除染(深耕)

震災からの環境回復状況

県内の空間線量率は、除染や自然減衰などにより大幅に低減し、現在では世界の主要都市とほぼ同水準となっています。
※これらの除染は、2018年3月までに完了しています。
(滞滞困難区域を除く)

福島県内の空間放射線量の推移



▲ 2011年4月12日~4月16日測定

▲ 2023年4月10日~5月9日測定

※滞滞困難区域で実施した定行サーベイ(2023年9月11日~2023年10月30日に実施)の測定結果
【出典】ふくしま復興のあゆみ(第40号)

世界との比較

県内の空間放射線量は、海外主要都市とほぼ同水準(滞滞指示区域を除く)



【出典】復興・再生のあゆみ(第14版)

野菜・果物、畜産物等の検査結果

2023年4月1日~2024年3月31日

県産農林水産物は出荷前に検査を実施、安全性を確認しています。
基準値を超過した品目は、市町村単位で出荷が制限され、流通しません。

種別	検査件数	基準値超過数
玄米※1	424件	0件
野菜・果実	1,875件	0件
畜産物	1,716件	0件
栽培山菜・きのこ	552件	0件
水産物(海産物・養殖)	3,366件	0件
野生山菜・きのこ	401件	0件
水産物(川・湖・池)	153件	0件

【参考】

食品中の放射性セシウムの基準値 【食品衛生法】(Bq/kg)			
一般食品	100	日本	100
牛乳	50	EU	1,250
乳児用食品	50	米国	1,200
飲用水	10	CODEX	1,000 ^{※2}

※1玄米については、2019年9月までは県内全域で全量全品検査を実施していたが、2020年度より「産地別検査」を実施し、玄米の検査数はモロコシ産・産地別。なお、現在は市町村単位で全量全品検査が行われているが、基準値超過はない。 ※2国際的な食品規格

【出典】復興・再生のあゆみ(第14版)

To the Future Fukushima

福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。本構想は、「あらゆるチャレンジが可能な地域」、「地域の企業が主役」、「構想を支える人材育成」の3つの柱を軸に、浜通り地域等において、6つの重点分野の具体化を進めるとともに、その実現に向けた産業集積や教育・人材育成、交流人口の拡大、情報発信、生活環境の整備など多岐にわたる取組を進めています。

研究開発・産業創出拠点の整備

福島から、世界へ。

公式HP
<https://www.fipo.or.jp/>

福島イノベーションコースト構想 YouTubeチャンネル

6つの主要プロジェクト

廃炉

国内外の英知を結集し、廃炉を進めるための技術開発に取り組んでいます。



ロボット・ドローン

福島ロボットテストフィールドを中核にロボット産業の集積を目指しています。



エネルギー・環境・リサイクル

先進的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立へ向けに取り組んでいます。



農林水産業

ICTやロボット技術等を活用して農林水産業の再生を目指しています。



医療関連

技術開発支援を通じて医療関連企業の販路を開拓しています。



航空宇宙

次世代航空モビリティ、ロボットの開発や関連企業の競争力強化に取り組んでいます。



ロボット関連産業

福島ロボットテストフィールド 南相馬市・浪江町

物流、インフラ点検、災害対応などのフィールドロボットについて、実証試験、標準規格の策定・製品認証などを行う国内唯一のロボット開発拠点。



Copyright © 2017 Fukushima Prefecture, All Rights Reserved.

農林水産業

ICTやロボット技術等を活用した農林水産業の展開や、新たな雇用創出、他地域・他業種からの参入をサポート。

農業の再生を目指す生産体制

水産業における先端技術等の開発・推進

ベルグ福島株式会社

川俣町



接ぎ木育苗技術や植物フックン技術等を用いた野菜苗の生産・販売を行っています。

株式会社 福島しろはとファーム

増葉町



大規模なサツマイモ専用貯蔵庫を備えて、安全なサツマイモ苗の育苗、販売を行いサツマイモの産地化を進めています。

農地所有資格法人ちの

浪江町・飯館村



ドローンによる水稲直播栽培等を導入し、効率よくプラスチック原料米や輸出用米等を生産しています。

福島県水産海洋研究センター

いわき市



水産復興・再生に向け、政府研究拠点を備えた福島県の研究拠点了。

福島県水産資源研究所

相馬市



沿岸漁業再生に向け、水産種苗の生産・供給及び沿岸漁業資源研究を行う福島県の拠点施設です。

医療関連産業

福島県は、日本有数の医療機器生産県です。県内大学では研究開発が進められ、大手医療機器製造企業の生産拠点多く立地しております。また、医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する国内初の拠点として「ふくしま医療機器開発支援センター」が2016年に開所しました。加えて、がんを中心とした産業拠点として2016年に開所した「医療×産業トランスレーショナルリサーチセンター」は、医療界と産業界の連携を行うことが期待されています。

ふくしま医療機器開発支援センター

郡山市



医療×産業トランスレーショナルリサーチセンター

福島市



エネルギー・環境・リサイクル

福島県では「2040年頃を目途に県内エネルギー需要の100%以上に相当するエネルギーを再生可能エネルギーから生み出す」ことを目標に再生可能エネルギーの導入拡大を進めるとともに、拠点整備等を通じて関連産業の育成・集積を図ります。

県内の再生可能エネルギー関連拠点

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

郡山市
国立研究開発法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。2014年4月1日に開所。スマートシステム研究棟が2016年4月1日に運用開始。

提供: (国研) 産業技術総合研究所

土湯温泉 16号 源泉バイナリー発電所

福島市
提供: (株)元気アップつちゆ

信夫山・遠藤ヶ滝・大玉第一小水力発電所

大玉村
提供: 信夫山感電電力(株)

グリーン発電会津 木質バイオマス発電所

会津若松市
提供: (株)グリーン発電会津

阿武隈・沿岸部共用送電線整備事業

田村市
阿武隈山地及び浜通り沿岸部において、再生可能エネルギー発電施設約600メガワットの導入支援を行うとともに、供用電線86.02km及び関連施設が2024年7月に竣工しました。

送電線 運用部分 部分

提供: 福島送電(株)

郡山市引馬原 風力発電所

郡山市
提供: J-POWER / 電源開発(株)

福島水素エネルギー研究フィールド (FH2R)

浪江町
2020年3月7日開所。世界有数の再生エネルギー由来(太陽光20MW)水素製造実証拠点を、毎時1,200Nm³(定格)の水素製造を行うことができ、1日当たり燃料電池自動車約560台分の水素を製造可能。

福島空港 メガソーラー

須賀川市・玉川村
提供: 福島発電(株)

燃料電池バス・燃料電池自動車

福島市 いわき市
県庁公用车をはじめ46台の燃料電池自動車が県内で登録済(2024年5月末)。いわき市内及び福島市~川俣町間で燃料電池バスが営業路線運行中。また、浪江町で2023年4月よりスクールバスが運行開始。

水素ステーション

5箇所(仮定)の定置式STと移動式ST(2箇所運用)が稼働中。県内では2024年5月に本宮市において新たに大型用車に対応した大規模定置式STが開所。

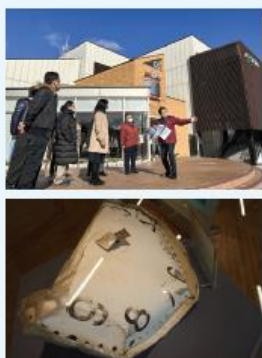
いわき市 ① 郡山市 ②
福島市 ③ 浪江町 ④ 本宮市 ⑤

福島を今を感じる旅へ

ホープツーリズム

福島県は、世界で類を見ない「複合災害(地震・津波・原子力災害)」を経験した唯一の場所。ホープツーリズムは、福島のあるままの姿と、復興に向けて果敢にチャレンジする人々の対話を通して、復興、そしてこの逆境からどうすれば脱却できるのかを考えることで、自分自身を成長させる学びの旅です。地域の震災の教訓と記憶を国内外に発信しています。

福島を今を感じる旅
ホープツーリズム



1 東日本大震災・原子力災害伝承館

正にホープツーリズムの学びの導入拠点。館内の映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶことができます。

東日本大震災
原子力災害
伝承館



地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所事故という、世界でも類を見ない未曾有の複合災害の記録やそこから得られた教訓、そして復興の歩みを国内外に伝え、さらには将来へ引き継いでいくためにつくられた施設です。福島が経験した原子力災害を伝えること、これまでの復興の過程を収集・保存・研究し、風化させることなく後世に継承し、また世界と共有することを目的としています。館内にはさまざまな資料や実際の記録映像などが多数展示され、震災・原発事故直後から現在までの経過や復興の歩みについて学ぶことができます。

施設内概要

- ①プロローグ(導入シアター) 震災前の地域の暮らし、発生後の状況や取り組みを7面スクリーンで紹介。
- ②復興への挑戦 復興を振り返り、被災地へ送られる物資や、震災後の生活の様子を紹介。
- ③原子力発電所事故直後の対応 原子力発電所事故発生直後の状況やその特殊性を、アニメーションで紹介。
- ④被災者の想い 未曾有の災害を経験した被災者の思い、震災や震災後の生活の様子を紹介。
- ⑤長期化する原子力災害の影響 原子力災害の長期化による影響と対応について資料や映像から学べる。
- ⑥災害の始まり 震災発生直後、事故発生直後、事故直後の経過を時系列で紹介。



▲自然に溶け込むような外観。屋上からは海刺を一望できる。



▲津波被害を受けた消防車を展示。



▲事故後の東京電力福島第一原子力発電所をジオラマで見ることが出来る。

2 震災遺構 浪江町立 請戸小学校



津波の脅威を後世に伝える県内唯一の震災遺構です。海岸から300mに立地。職員の迅速な判断と児童の協力により、奇跡的に全員が無事避難することができました。今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っています。



▲震災時の写真

請戸小学校
ホームページ



4 とみおかアーカイブ・ミュージアム



突然奪われた日常を生活者の目線から伝えていきます。避難誘導中の2名の警察官が犠牲になった被災バトカー等が展示されています。

とみおか
アーカイブ
ミュージアム
ホームページ



3 Jヴィレッジ



アスリートの聖地Jヴィレッジは、2011年3月11日の東日本大震災に伴い震災事故収束の契機となり、営業を休止していましたが、2018年ふくしま復興のシンボルとして生まれ変わり、2024年より、男子のサッカー競技の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)固定開催が決定され福島県の復興への火を灯しています。



Jヴィレッジ
ホームページ



5 いわき震災伝承みらい館



いわき市の震災体験を将来にわたり発信する施設です。災害に対する危機意識や防災意識の向上なども目的としています。

いわき
震災伝承
みらい館
ホームページ



6 福島県環境創造センター コミュタン福島

施設内概要

体験型の展示をとおして、ふくしまの環境の回復と創造への意識を深め、ふくしまの現状や放射線環境について、楽しく学べる施設です。

コミュニタン福島
ホームページ



- 1 ふくしまの3.11から 震災前・震災中・震災後のふくしまを振り返る
- 2 未来創造エリア ふくしまの未来を思い、ふくしまの未来をともに築こう
- 3 環境回復エリア 放射線や環境創造センターの研究について学ぼう
- 4 環境創造エリア 自然の恵みを受け、ふくしまの未来を共に築こう
- 5 環境創造シアター 大迫力の映像と音響で環境創造センターの魅力を体験しよう
- 6 触れる地球 宇宙から見たリアルタイムの地球の姿を体験



日本に2つしかない360°ドームシアター「環境創造シアター」では、大迫力の映像と音響空間に包まれ、臨場感を味わえます。

No.1 in Japan



医療用機械器具の部品等出荷額
251億円 (2022年)
13年連続全国1位

No.2 in Japan



2023酒造年度
全国新酒鑑評会 金賞数 18銘柄

No.2 in Japan



もも収穫量
28,500トン
(2023年)

No.2 in Japan



漆器製台所・食卓用品出荷額
15億円
(2021年)

No.4 in Japan



温泉地数
125箇所
(2023年)



ふくしま復興情報ポータルサイト

「ふくしま復興情報ポータルサイト」は、復興関連情報を集約した総務課のポータルサイトです。

ふくしま復興



Fukushima Today

国際観光交流局が海外の場面で福島の魅力を見出し、SNSで情報発信します！

Fukushima Today



ふくしまの旅

奇麗な景観も、見どころ満載の福島県。見ているだけで行ってみたいくなるサイトです。

福島観光情報サイト

